

報 告 書

開催日時	令和 7 年 8 月 5 日 19時 00分 ～ 20時 30分			
自治協議会名	阿保地区住民自治協議会		開催場所	青山複合施設アオーネ
出席議員	西田 方計、百上 真奈、浅川 友和、宮崎 栄樹			
	班長	西田 方計	記録・報告者	浅川 友和
参加人数	18 名			

【主な意見・提言等】

①現在の市職員の体制について

- ・住民と本庁をつなぐ「橋渡し役」として相談・要望対応、防災・防犯、生活支援を担当。
- ・支所職員の権限が限定的で、要望処理や案件進行が遅れる場合がある。
- ・住民相談が本庁でたらい回しになるケースもある。
- ・自治会支援や地域活動など多岐にわたる業務に対し人数・配置が不足。
- ・業務負担の偏りが発生しやすい。
- ・防災・防犯、行政サービスなどの情報が住民に十分周知されていない。
- ・職員によるわかりやすい情報提供体制が必要。
- ・外国人住民や若い世代に合わせた柔軟な対応が求められる。

②地域の防犯・防災について

- ・防犯カメラ設置補助金や手続きの情報が住民にわかりにくい。
- ・支所窓口でも具体例や手順を周知できる体制が必要。（リモートによる本庁とのやりとりは可能）
- ・過去の台風や停電時に情報共有が不十分で、住民の戸惑いがあった。
- ・防災無線の廃止によるデジタル情報への切替で対応に課題。
- ・地域特性（川の向こう側など）に応じた避難計画や自治会との協力が必要。
- ・消防団と地域住民の情報共有・支援体制の整備が課題。
- ・外国人住民への防災・防犯指導の工夫が必要

③地域を良くするために

- ・自治会活動は地域のつながりを作る重要な機会だが、担い手不足で負担が大きい。
- ・住民参加や情報共有の仕組みづくりが必要。
- ・お買い物バスや子ども遊び場、駐在所などの整備要望がある。
- ・防災・防火対策や防犯施策を住民とともに計画・実施することが重要。
- ・若い世代や多様な住民のライフスタイルに応じた地域づくりが求められる。

伊賀市議会議長 様

令和7年8月20日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会	6 班
班長	西田 方計
